

6月 園だよ!

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R4. 5. 31 文京区立本駒込幼稚園



気づき、考え、学ぼうとする子どもの姿

副園長 山下 美幸

新緑の美しい季節となりました。感染症対策に関しましては、行事の日程変更など、保護者の皆様にはご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。引き続き、感染対策を行う中で、状況に合わせて見直し、十分な対策を講じて教育活動を続けていきたいと思っております。

さて、入園、進級して2か月が経とうとしている子どもたちですが、園生活に慣れ始め、安心して過ごしたり、先生や友達との遊びを楽しんだりする姿が見られています。

年少ちゅうりっぷ組では弁当が始まり、幼稚園で過ごす時間が長くなりました。子どもたちの行動範囲も広がり、保育室や園庭で元気に遊ぶ姿が見られます。担任ではない私にも自然と声を掛けてくれる子もいます。外で見つけたダンゴムシを見せながら「見つけたよ」と声を掛けてくれたり、作ったちょうちょのペープサートや粘土で作った物を見せてくれたりする姿も出てきました。弁当時や登降園時の身支度も、先生に手伝ってもらいながら、自分なりに行おうとする姿が見られています。思わず手伝いたくなりますが、「自分でやる」という意思表示が子どもの身支度をする姿から伝わってきます。きっとご家庭でも一緒に練習してくださっているからだと感じています。

年中さくら組は、虫や自然物に興味がある幼児が多く、小さな図鑑を手にしながら、園庭で見つけた虫を調べたり、土を掘って見つけた幼虫を大事に飼育ケースに入れたいしています。「この色が似ているから、〇〇という虫かな」「この模様が似ているから△△という虫かな」と、友達や担任と共に図鑑の絵や写真と虫とを見比べながら、気付いたり、考えたりしたことを言葉に出しています。虫との出合の中でも、気づき、考え、学ぶ経験をしていると感じます。

年長すみれ組では、4月から始まったお休み調べの当番活動が定着してきました。毎朝、各学級の出欠確認をする中で、幼稚園の中で自分たちが役に立っていると実感し、喜びを感じる機会となっているようです。お休み調べの最後に、職員室に報告に来る子どもたちとのやり取りも、私にとって日々の楽しみになっています。お休み調べを始めた頃は、「今日は何曜日？」という質問に答えられない子もいましたが、繰り返す中で、日にちや曜日を意識したり、各学級のお休みの人数を把握したりする意識も芽生え始めました。「今日はクイズ（質問）はあるのかな？」とわくわくするような表情で聞いてくる姿や、質問に応えた後の喜びの笑顔から、日常の様々な場面において、子どもが気づき、考えたり、学んだりする機会がちりばめられていることに改めて気付かされ、考え、学ぼうとする意欲を大切にしたいと感じました。

6月も、引き続き感染対策を講じながら教育活動を実施する中で、子どもたちの「気づき、考え、学ぼうとする姿」を日々支えていきたいと思っております。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

年長さんと
幼虫探し

幼虫、
いるかな？

